

【基本計画】設計に向けた与条件の整理（案）

～組織とフロア構成～

2015.09.29 現在

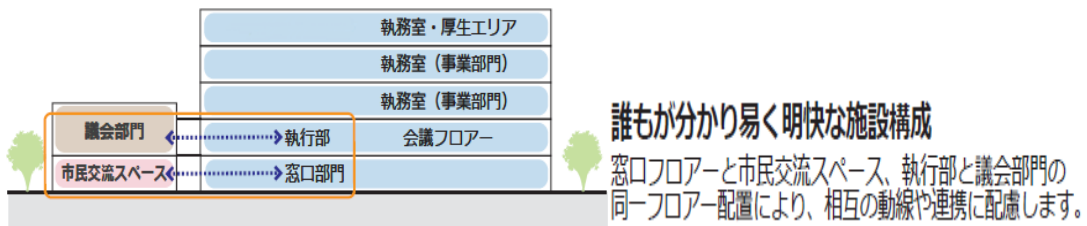
● 階層及び構成

階層…基本構想で示した 5階建て以下 を想定

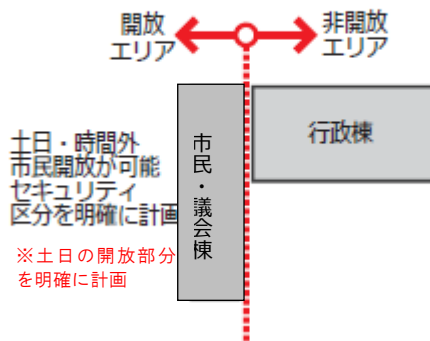
※ 近隣に高さ 25m 制限があるため

構成…施設を有効に活用するため 2 棟構成（行政棟と市民・議会棟）を想定

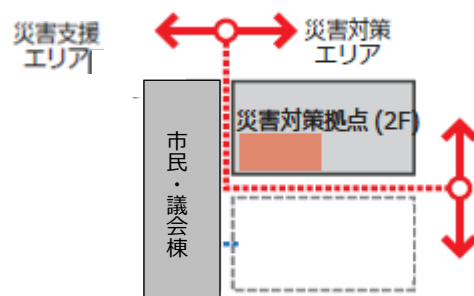
※ 現段階では、原則として、地下フロアは設けない想定



開放エリアと非開放エリアの明確な分離



災害対策拠点、災害支援拠点の明解な分離



● 配置計画

次の5ブロックに分けて検討する。

- ① 執務スペース（1階）
 - ② 執務スペース（2階以上）
 - ③ 市民活動スペース
 - ④ 議会スペース
 - ⑤ 外構（駐車スペース、緑地他）
- } 行政棟
- } 市民・議会棟

● 敷地面積及び延床面積

敷地面積及び延床面積は、基本構想で示した面積を最大とする。

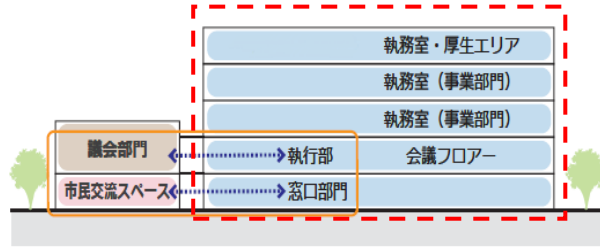
敷地面積…30,000 m² / 延床面積…19,000 m²

【行政棟】

組織については、基本計画策定時点での組織構成を基本として検討するものとし、将来における社会情勢の変化などに伴い部課の編成等が変わっても、柔軟な対応が可能となり、効率的な行政運営ができる庁舎を目指す。

『フレキシブルな庁舎』

行政棟…執務スペースを基本。 【重点 point：利便性・防災】



● 階層の考え方

階層については、駐車場、緑地の面積を鑑みながら、なるべく低階層に抑えられるように検討を進める。

階層	建築コスト	駐車場・緑地	柔軟性
低階層	低い	狭い	高い
↓	↓	↓	↓
高階層	高い	広い	低い

◆ 配置計画の基本的な考え方

現在の本庁機能は、全て新庁舎に集約する

各フロアには、主に次の部署（機能）を配置することを想定する。

階層	配置の基本的な考え方
低階層 (1階) ↑↓ 高階層	<ul style="list-style-type: none"> 市民の利便性向上を図るため、日常的な窓口機能を中心に市民の利用頻度が高い部署の配置を検討する。 各種手当の申請や期日前投票などに利用できる多目的な会議室の配置を検討する。
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> 業務に関連が深い部署を1つのフロアに集約の上、隣接して配置する。 スペースごとにセキュリティレベルを定め、的確にゾーニングする。 各フロアの構成に合わせた会議室、保管スペースの配置を検討する。 各フロアに簡易な打ち合わせや作業に使用するスペースを設ける。 詳細については、オフィス環境調査及び業務量調査の結果、第2次総合計画などを踏まえ、総合的に建物の階数と配置する機能を決定する。

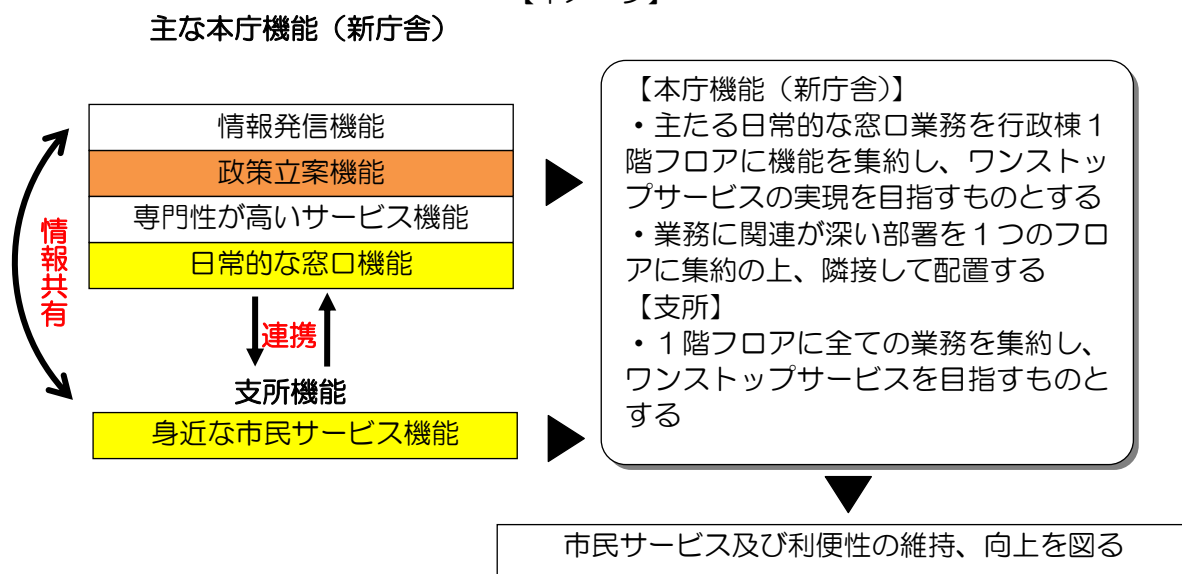
階層	主な配置想定部署（機能）等
1階	市民課、社会福祉課、高齢福祉課（介護認定支援室）、国保年金課（レセプト点検室）、子育て支援課、保育課、健康増進課、課税課、収税課、会計課、水道課（料金・開閉栓手続きのみ）、相談コーナー（外国人生活相談窓口、消費生活センター、移住促進センター）
2階以上	市長室、副市長室、教育長室、企画政策課、シティプロモーション課、秘書課、市民協働推進課、総務課、放射能対策課、財政課、契約検査課、環境管理課、環境対策課、生活課、農務畜産課、農林整備課、農業委員会事務局、商工観光課、都市計画課、都市整備課、道路課、建築指導課、教育総務課、学校教育課、生涯学習課、スポーツ振興課、水道課、下水道課、選挙・監査・固定・公平委員会、製図室、印刷室、入札室、厚生施設（休憩室、シャワー室、組合室など）、災害対策本部室、共用会議室、行政資料閲覧室、サーバ室、機械室、記者クラブ室

※1階フロアの詳細項目については、9月24日に担当課職員とワークショップを開催し、検討を進めております。

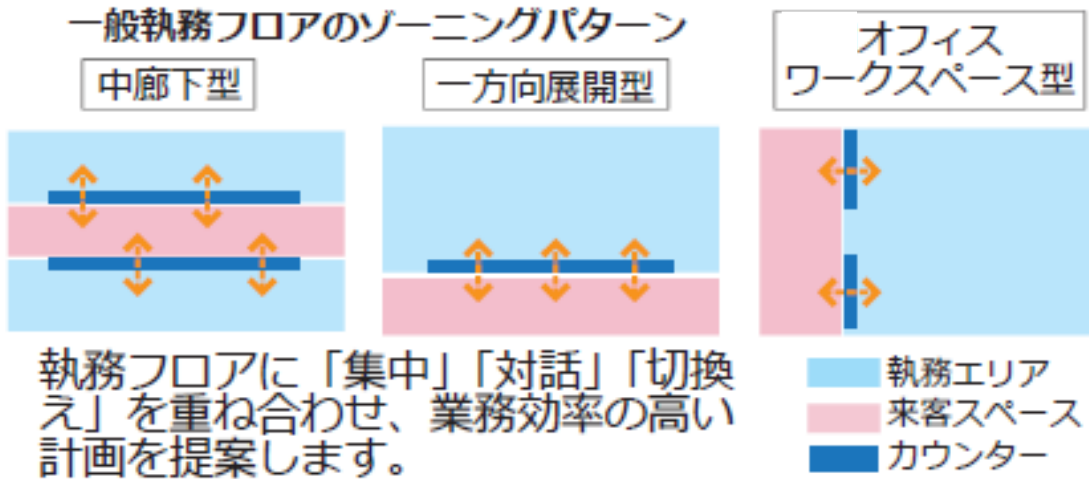
● 支所機能との連携

新庁舎建設後においても、身近な市民サービスを支所で提供することで、市民サービスの低下を招かないようにする。

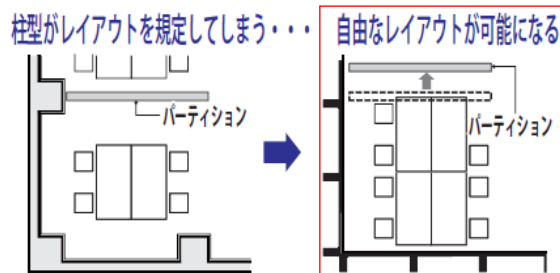
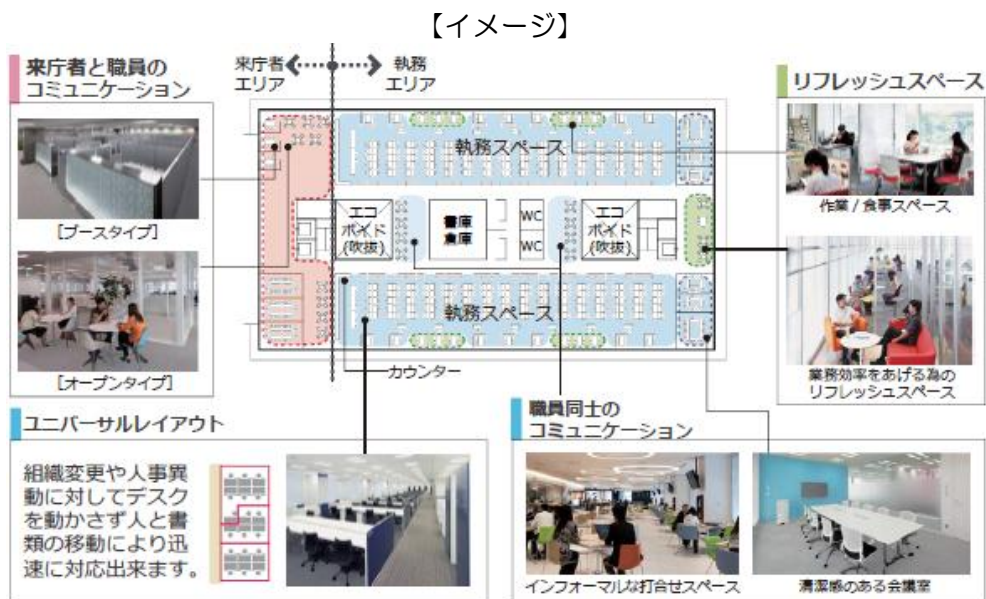
【イメージ】



- **空間構成**…執務エリアと来庁者エリアをゆるやかに分離し、業務効率及びセキュリティを高めた配置とする。執務フロアのゾーニングパターンを参考に、市民の利便性と職員の業務効率が向上するような配置を検討する。

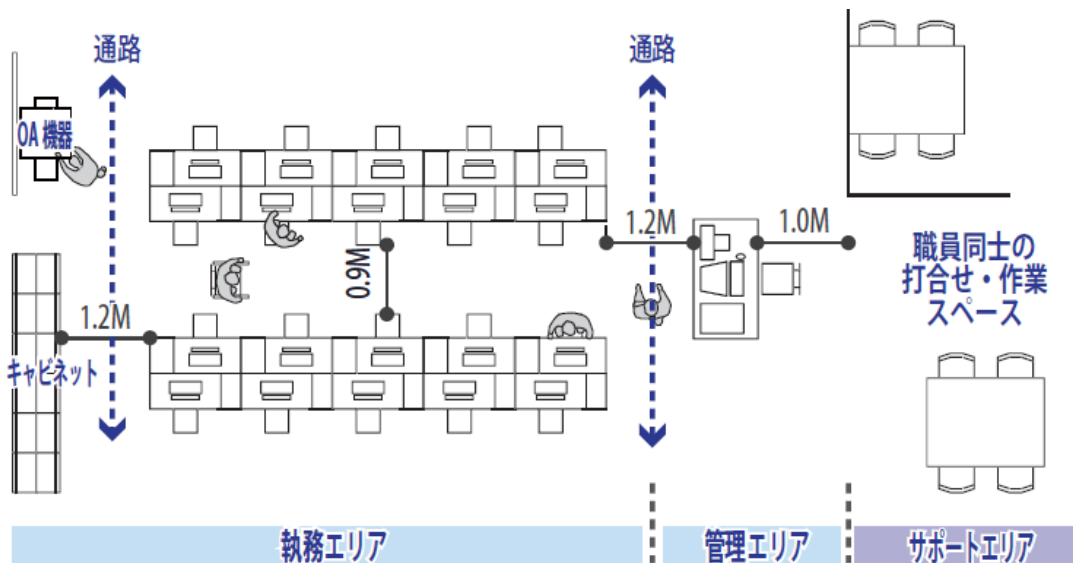


- **フロアの平面構成**…2階以上のフロアには、同一平面を基本とし、各フロアの特性に沿った平面構成を工夫する。



● 机の配置…ユニバーサルレイアウトを採用。

組織改編や人事異動の際、デスクを動かさず人と書類の移動のみで迅速な対応が可能なものとする。なお、部長及び課長の席は、管理エリアに配置する。



● 構造

防災の拠点及びBCPの観点から、免震構造を基本とする。(地質調査は今後実施予定)

◆ 耐震の構造比較表

	耐震構造	制震構造	免震構造
構造	地震時に建物に生じる力に耐えるように設計された構造体のことです。	建物内に揺れを吸収する制震装置を設置し、揺れを低減します。建物の状況にあわせ、さまざまな制震装置があります。	地盤と建物間に地震を受け流す免震装置を設置し、建物への地震力の伝達を低減します。
特徴	建物の揺れ自体は減少せず、二次災害は避けられません。	建物内の揺れを軽減することができます。二次災害も軽減できます。	建物内の揺れ及び家具転倒はほとんどなく、二次災害も避けられます。
コスト	3種類の中で最も費用負担が小さい。	費用負担が比較的大きい。大地震後には、点検・修理が必要。	3種類の中で最も費用負担が大きい。定期点検が必要となる。

● その他

◆ 軽食堂

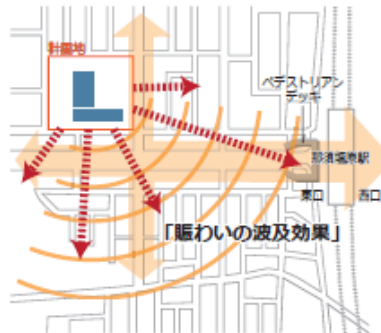
行政棟には配置しない。

⇒ 周辺の賑わいを創出することに繋げる

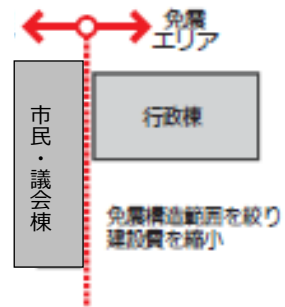
⇒ 解放エリアと非解放エリアを明確に分ける

⇒ 市民・議会棟にカフェなどを配置することを検討

駅周辺の市街地形成と
にぎわいづくりへの「働き掛け」



構造形式の明確な分離



【市民・議会棟】

市民・議会棟…市民交流スペース・議会施設

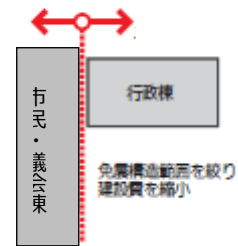
【重点 point：まちづくり】

市役所の業務時間外や休日などの利用にも柔軟に対応できるようにするため、職員が業務を行う建物と分離して配置。

建物の階数…2階建てを想定

構造…地元県産木材を使用することを検討。

構造形式の明確な分離



フロア	主な配置想定機能等
1階	市民交流スペース、生活利便機能、各種回収ボックス、日直室など
2階	議事課、議場、議会関係諸室 など
屋外	イベント広場（兼緑地、兼献血バス駐車スペース）

※ 1階及び2階については、職員が業務を行う建物と連結できるようにする。

③ 市民交流スペース

市民交流スペースには、次の機能を配置することを想定する。なお、延床面積は、基本構想で示した2,000㎡を最大とする。（コンビニ・ATMは含まない。）

● フロアイメージ



市民・議会棟の1階には、次の機能を配置することを想定する。

- ◆ 市民活動スペース（市民活動センター）
- ◆ 市民活動に使用する会議室（3部屋程度）
- ◆ 市民ギャラリー
- ◆ カフェ（軽食堂）
- ◆ 情報発信コーナー
- ◆ コンビニ
- ◆ 子育て広場
- ◆ コピースペース
- ◆ フリーの待合スペース
- ◆ 議会傍聴スペース など

④ 議会スペース

市民が、市政を身近に感じることができる開かれた議会を実現するための空間を整備し、議会の意思決定をする場としてふさわしい議場及び議会関係諸室（事務局、委員会室、会派室など）を効率的に配置することを検討する。

- 延床面積は、基本構想で示した 910㎡（共有スペースを除く）を基本とする。
- 議場は、固定式を採用する。
- 詳細については、市議会と別途調整する。

● フロアイメージ



⑤ 外構

運転手控室、作業員詰所、備蓄倉庫などを配置できるような車庫の活用方法を検討する。